

企業の海外都市インフラ展開にむけた活発な情報交換・意見交換 「Y-PORT 勉強会」を開催（12/6）

～ 世界のエコシティーの動向と海外展開のポイントを探る ～

新興国では環境に配慮した大規模な都市開発（エコシティー・エコタウン）が進んでおり、地方自治体や企業の技術・ノウハウの活用が期待されています。海外のエコシティー計画を手掛けるスペインの建築家/都市・地域計画コンサルタントのアルフォンソ・ベガラ氏（Fundación Metr poli 会長：マドリッドに本拠地をおく非営利団体）を招いて、企業などと活発な意見交換を行いました。

- 1．日 時：平成 23 年 12 月 6 日（火） 14:00～17:00
- 2．場 所：関内フューチャーセンター
- 3．参加者：45 人（市職員含む。民間企業 19 社）
- 4．講演内容：

Fundaci n Metr poli の活動について

講演者：アルフォンソ・ベガラ氏（Dr. Alfonso Vegara）

建築家・都市・地域計画コンサルタント、Fundaci n Metr poli 会長

Fundaci n Metr poli が手掛けるアジアでのエコシティー計画の事例について

講演者：ルーク・ミッチェル氏（Mr. Luke Mitchell）

景観・都市設計・GIS スペシャリスト、Fundaci n Metr poli

5．勉強会の様子



講演の様子



意見交換の様子



Alfonso Vegara 氏



Luke Mitchell 氏

6. 意見交換や参加者からの感想等

(1) 主な意見交換内容

Q：Fundación Metrópoli の組織について

A：Fundación Metrópoli は、15年前にペンシルベニア大学において、都市課題に関する学術的な研究のために設立され、現在は非営利団体としてその解決策を研究しています。

Q：都市計画の専門家が、土地勘のない海外都市において、どのように計画を進めているか。

A：常に地元の組織や団体および事業当局と連携・協力して進めています。Fundación Metrópoli の国際的な経験・知識と地元の団体、組織との連携によって事業を推進しています。また、重要なことは現場に何度も何度も足を運んで対話を行うことだと考えています。

Q：世界的な都市間競争の中で、成長をする都市を計画するには、都市の「独自性」を捉えることが重要であるとの説明があったが、どのような手法を用いているのか。

A：20年間にわたり都市の評価手法を開発してきました。まず、都市に関する様々な Indicator (指標) によって都市間比較を行い、市民とのフォーラムを開き 180 項目からなる視点で、都市の強みを特定していきます。そのうえで、地理的な情報を含めて検討等を進めています。

Q：本日お集まりの企業を含め、様々な関係者と連携して横浜市の技術・ノウハウを活用した海外展開の推進を考えていきたい。今後も Fundación Metrópoli の経験、知識を共有していただきたい。

A：横浜市は積極的に国際的なネットワークづくりを行い、海外の環境都市の支援にむけて努力している。横浜の強みを海外に活用することに貢献することができれば、非常に光栄だと考えます。

(2) 参加者からのアンケート結果

回答者 27 名中 23 名 (85%) から「大変満足」・「満足」の感想を頂きました。参加者からは、「海外の先進的な都市開発事例」、「行政区を超えた圏域の考え方」、「都市間で連携して都市開発する発想」、「都市の完成形をハードイメージから描く手法と異なる多角的なアプローチ」を知るきっかけとなった、等の感想がありました。

7. 講演者略歴

アルフォンソ・ベガラ氏 (Dr. Alfonso Vegara)

建築家、都市・地域計画コンサルタント

ナバラ大学等で建築、都市計画、都市・地域経済学、計画学、政治社会学を学ぶ。世界の 20 都市 (ボストン、シンガポール、セブなど) が参加する Proyecto CITIES Initiative (都市に関する研究、国際会議、ワークショップ) の開催と運営を行う非営利団体 Fundación Metrópoli (本拠地マドリッド) の会長を務める。上海市奉賢区やスペインマドリッドのエコシティー事業を含む数多くの都市計画を手掛けている。



お問い合わせ先

横浜市政策局共創推進室国際技術協力課 中村、正岡 TEL 045-671-4396